

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	スクールサポート事業			事業番号	038-053
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②いじめへの対応強化と不登校児童生徒への支援			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5	
		寄与するKPI	有	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化			
3	事業開始年度	有・無	無	指標名	—			
		有・無	無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 23 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立学校園(148校園)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■生徒指導における喫緊の課題や学校だけでは解決が困難な課題に対し、初期段階で緊急、集中的に支援することで、早期解決を図り、秩序と活気のある学びの場をつくることを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■学校の荒れにつながる喫緊の課題に対し、教育委員会の指導主事、学校危機管理アドバイザー、生徒指導サポートスタッフをスクールサポートチームとして派遣する。スクールサポートチームは、早期解決に向けた学校の指導体制のあり方や対応を協議し、生徒指導体制の見直しを行うとともに、学校と連携して教員の指導をサポートしたり、子どもに対する働きかけを行ったりするなど、直接的、集中的な支援を行う。また、弁護士による相談の場を設け、課題の早期解決を図る。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度		
11 不登校生徒出現率	%	目標値	3.65	3.94	全国平均値	全国平均値		
		実績値	3.08	集計中				
		達成率	116%	-				
当該指標を選定した理由		■スクールサポーターや学校危機管理アドバイザーが機能し、学校の生徒指導支援につながった結果として表れる項目の1つであるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		■全国的に増加傾向であるため、全国平均値以下をめざす。(最新の情報を目標値として設定)						
12 生徒指導サポートスタッフ派遣回数	回	目標値	1,600	1,400	1,400			
		実績値	1,083	1,223				
		達成率	68%	87%				
当該指標を選定した理由		■積極的な活用を促し、学校の課題に対応するため。						
目標値の設定根拠・算出方法		■派遣回数/派遣可能回数						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スクールサポート事業	事業番号	038-053
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	11,056	11,081	11,979	10,767	11,859
13 財源内訳	国支出金	1,376	1,178	1,120	366
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	9,680	9,903	10,859	10,401	10,739
14 人件費 (b)	1,640	1,620	1,640	1,640	3,280
15 年間経費(c)=(a)+(b)	12,696	12,701	13,619	12,407	15,139

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								16 事業費内訳
学校危機管理アドバイザー報酬	R2	決算	6,527	6,527				
	R3	予算	6,628	6,628				
	学校危機管理アドバイザー-期末手当	R2	決算	696	696			
		R3	予算	789	789			
	学校危機管理アドバイザー-通勤費	R2	決算	342	342			
		R3	予算	468	468			
	学校危機管理アドバイザー-出張旅費	R2	決算	0	0			
		R3	予算	14	14			
	生徒指導サポートスタッフ・スクールロイヤー-謝礼金	R2	決算	3,202	2,836			
		R3	予算	3,960	2,840			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① スクールロイヤー相談回数	回	105	80
② 上記①にかかる年間経費	千円	860	977
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8,191	12,213
備考 (算出についての説明等)	スクールロイヤーの学校への派遣にかかる経費、人件費30%		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>■ 不登校やいじめをはじめ学校が抱えている課題は多様化、複雑化してきており、今後もスクールロイヤー等の人的支援を活用し、学校の生徒指導課題に対し、様々な支援を行い、落ち着いた学習環境の構築につなげる必要があり、本事業を推進していくことが重要である。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>■ 学校の生徒指導課題が多様化、複雑化するなか、サポートを必要とする学校園に初期段階で緊急、集中的に支援を行うことで秩序と活気のある学びの場づくりに向けての目標達成に寄与したと考えられる。</p>
----	---